

# 新型コロナ対策について

新型コロナについての、町民の要望が強い3点について質問しました。

## ①交流センターにエア コン設置を求める

永田 交流センターは避難所となっており、政府の制度資金活用もして設置を進めるべきだ。

町長 可動式のエアコンを含め、財源確保の観点など十分検討させていただきたい。

## ②少人数学級実現に 向けた準備をすす めるべき

永田 今回のコロナ対策

の中でひとつの前進面として少人数学級の実現がある。急速な国民要求の高まりの中で具体化が進もうとしている。最後まで要望を続けるとともに、人材確保・施設計画等万全の準備を進めることを求める。

## ③PCR検査体制の 拡充をはかれ

永田 PCR検査は、とりわけ医療機関をはじめ介護施設や障害者施設のみならず、定期的な検査を受けられる体制づくりが求められている。安心して、医療や介護の仕事ができるこ

# ジェンダー平等も阻害する 時間外労働は改善せよ

永田 2020年3月議会で町職員の時間外労働と在庁時間の長さの実態が示され、一月に40時間を超える時間外労働の実態が明らかとなった。職員の労働実

態として極めて不健全な状況だ。とりわけ、様々な生きづらさを抱える女性職員にとっては、その活躍を妨げる要因ともなっている。その後の取り組みは、

どうなっているのか。  
町長 女性幹部職員の登用はすすめて行きたいと考えている。

マンパワー不足という指摘もあり、職員定数の見直しも検討している。コミュニケーションを積極的に活用しながら職場づくりをすすめていきたい。

と、そうした点から具体化していくことが大切と考えます。県内クラスターの4割以上が、医療・介護施設で発生している事を見ても、早急に具体化していくことが求められているのではないかと。

町長 検査体制の逼迫とゆうこともあり、厳しいのではないかと。しかし、希望されているかたへの(検査)情報提供はやらなければならぬ。支援策についても研究していく。

# 多目的の町内循環バス実現を

繰り返し質問してきた、「町内循環バス」の検討状況について質問しました。

永田 町内循環バスについて、何回となく成功事例も含めて発言してきたが、まったく手が着いていない。タクシー券補助も改善がない。具体的なアクションを求める。

町長 民間のバス運行に支障が出ない組立てが必要です。試験的に始めたフレイル対策をとおして、幅を

# コロナ禍のいまこそ くらし・福祉の充実を

町民のくらしは、可処分所得減少に加えて、消費税の引き上げ、コロナ禍によって収入減少に見舞われている中で、くらしと福祉の応援が欠かせないとして、次の4点を質問しました。

## ①国保値上げは許されない

町民のくらしは、可処分所得減少に加えて、消費税の引き上げ、コロナ禍によって収入減少に見舞われている中で、くらしと福祉の応援が欠かせないとして、次の4点を質問しました。

町長 税率改正に異議を申されることは、十分理解しているが、厳しい財政が予測され、苦渋の決断とされています。

広げながらやっていきたいと思っっています。

永田 フレイル予防のタクシー予約システムと循環バスは別物であり、現状は検討されていないに等しい。

②保育所副食費の無償化、なぜできない

③介護保険は基金を還元して引き下げよ

# コロナ対策・心配事・お困りのこと などお寄せ下さい。

くらしの展望をひろく「しんぶん赤旗」を、この機会に是非お読み下さい。  
日刊紙は3497円 日曜版は930円です。  
お申し込みは、永田町議まで。☎0956・37・8837